こども
子供のインターネットバイブル

あんない
案内いたします

おお　　さかな
ヨナと大きな魚

文：Edward Hughes

絵：Jonathan Hay; Alastair Paterson

改作者：Mary-Anne S.

翻訳者：Yuko Kajiki

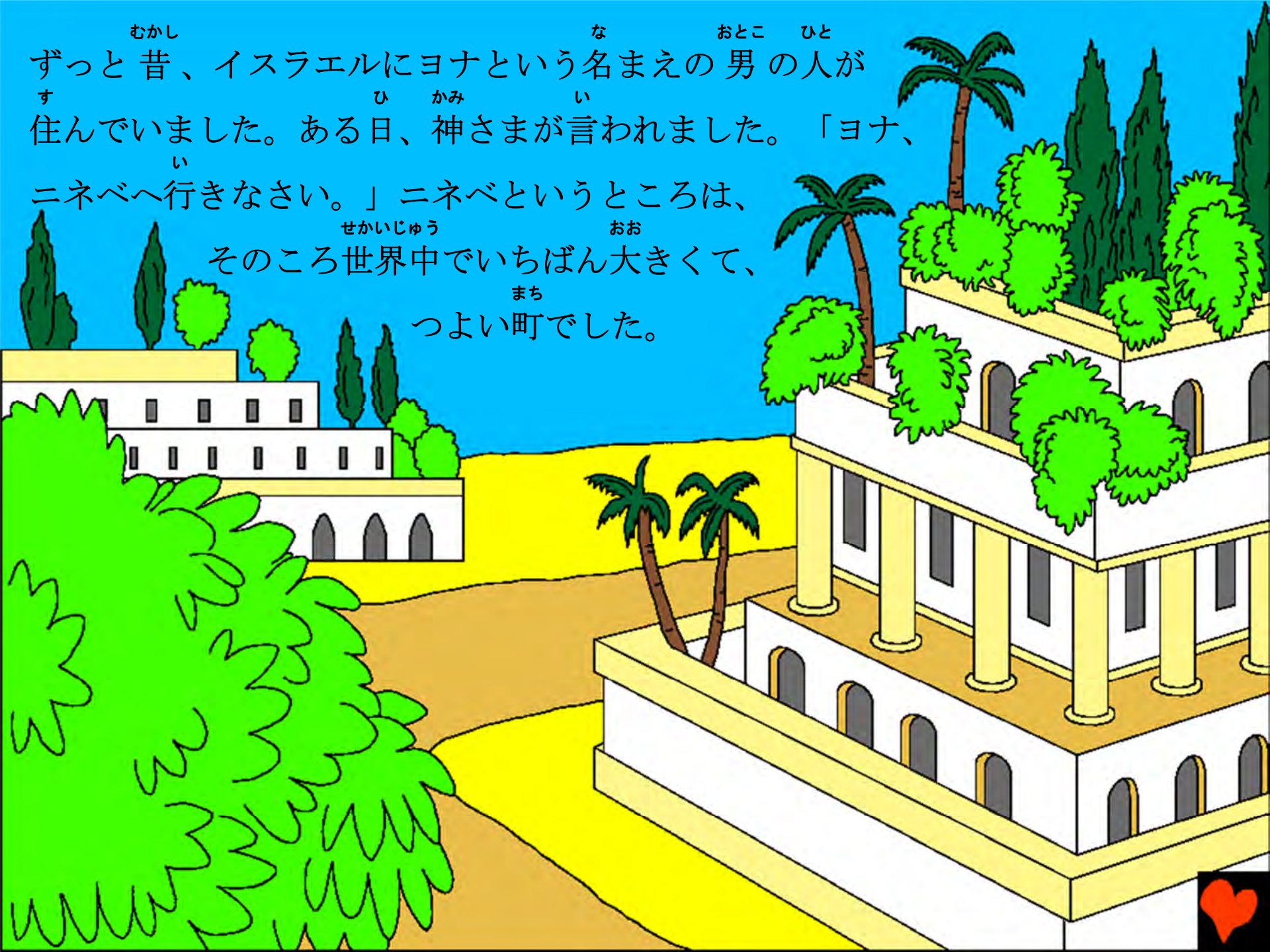
監修者：Dan Ellrick

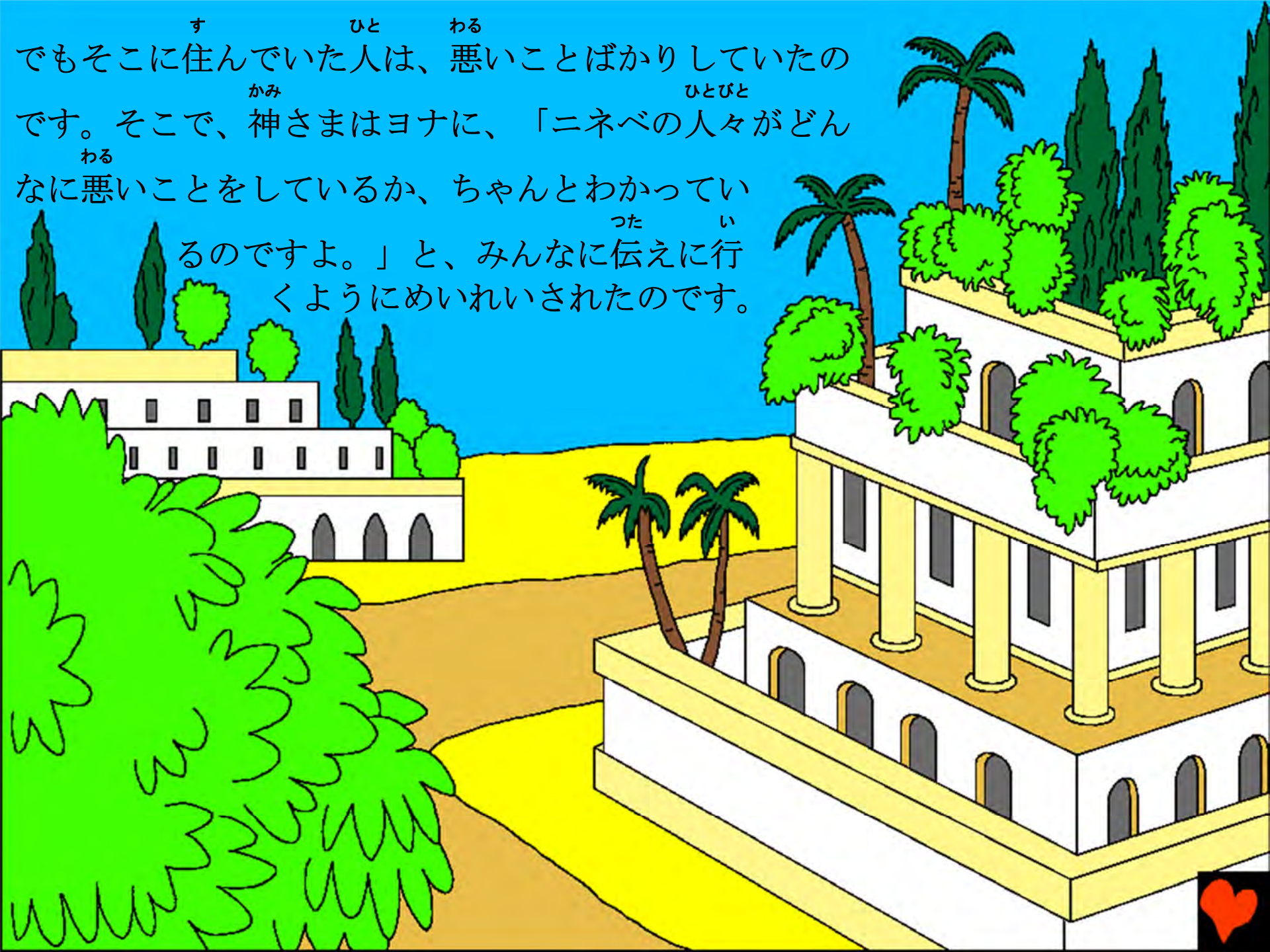
出版社：Bible for Children

www.M1914.org

©2022 Bible for Children, Inc.

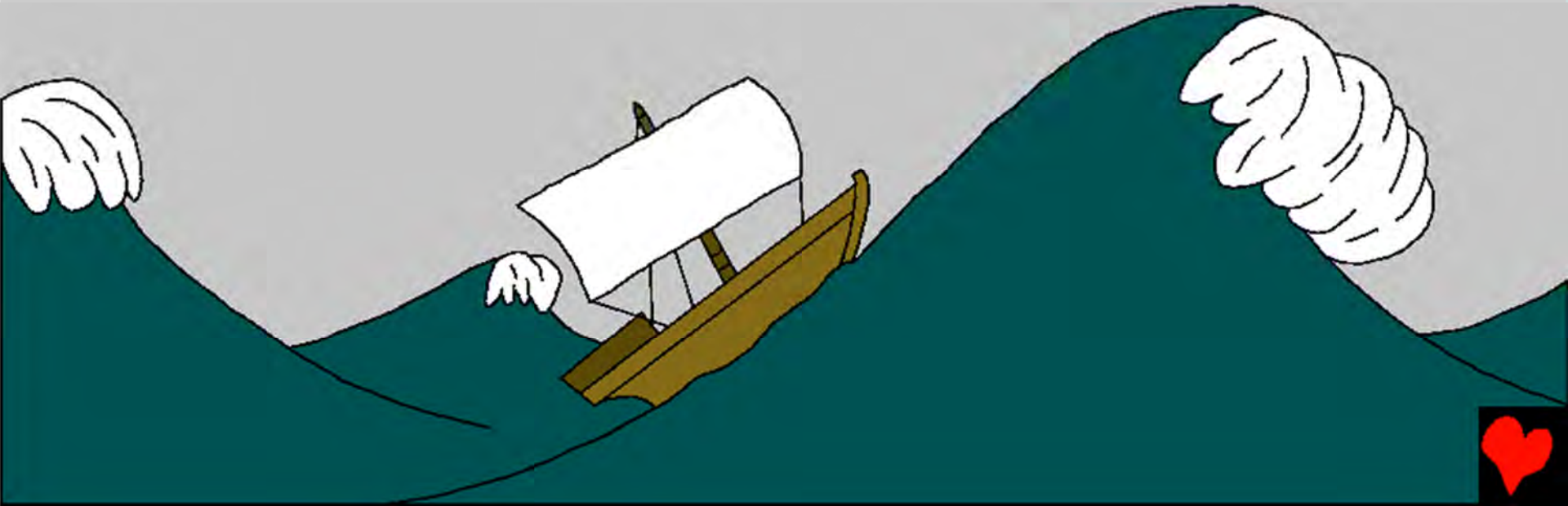
許可：　他人に売らない限り　このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。


むかし
な
おとこ
ひと
ずっと昔、イスラエルにヨナという名まえの男の人が
す
ひ
かみ
い
住んでいました。ある日、神さまが言われました。「ヨナ、
い
ニネベへ行きなさい。」ニネベというところは、
せかいじゅう
おお
そのころ世界中でいちばん大きくて、
まち
つよい町でした。

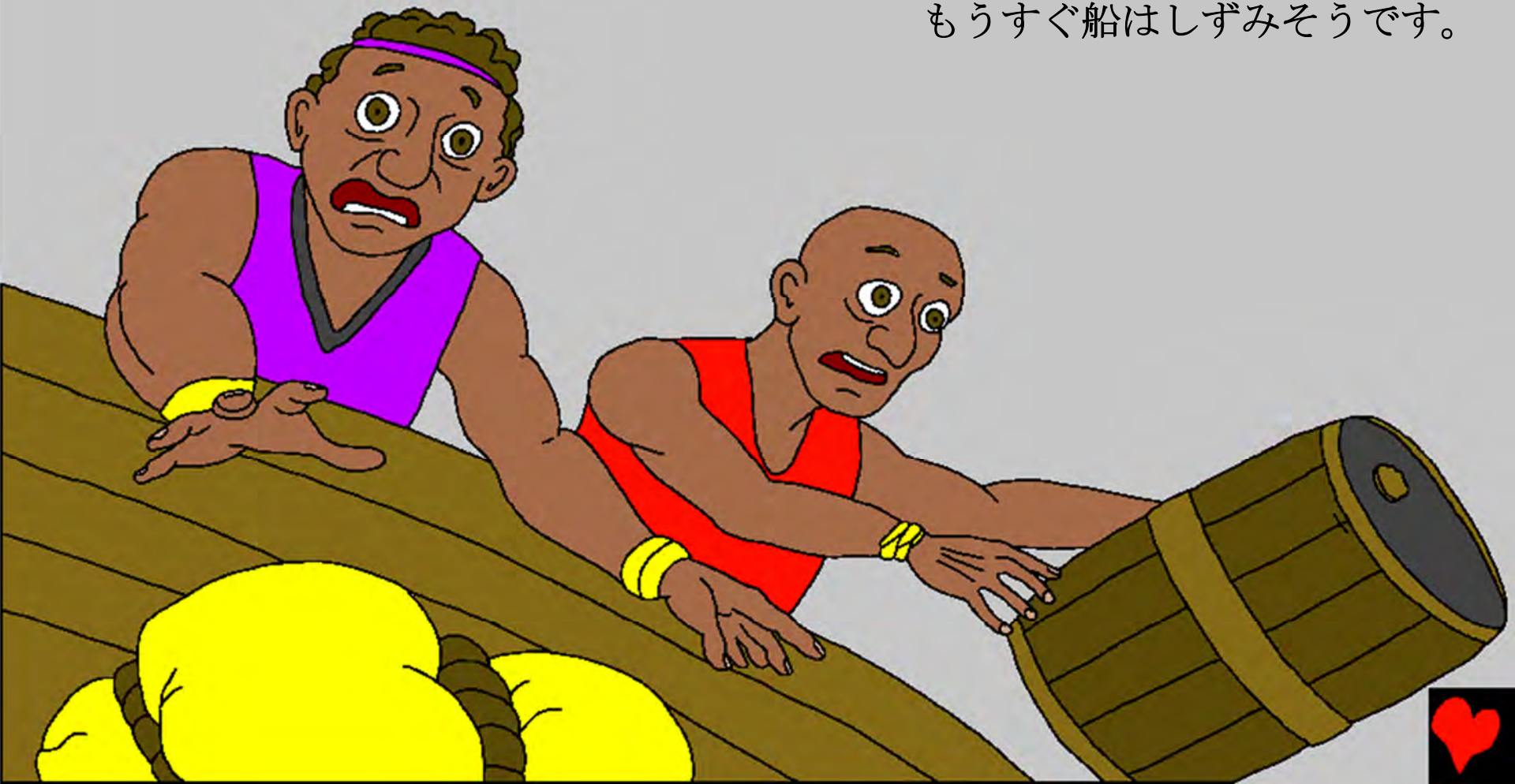

でもそこに住んでいた人は、悪いことばかりしていたのです。そこで、神さまはヨナに、「ニネベの人々がどんなに悪いことをしているか、ちゃんとわかっているのですよ。」と、みんなに伝えに行くようにめいれいされたのです。

ところが、ヨナは神さまのおっしゃるとおりにしなかったのです。ニネベへ行くかわりに、船にのって反対の方、タルシシュにむかいました。

そこで主なる神さまは、海につよいつよい風を送られました。さあ、たいへん！ひどいあらしです。ざぶーん、ざぶーんと大きな波が　船におおいかぶさってきます。「ああ、どうしよう！船がバラバラになってしまう！」船のりたちは、さけびました。



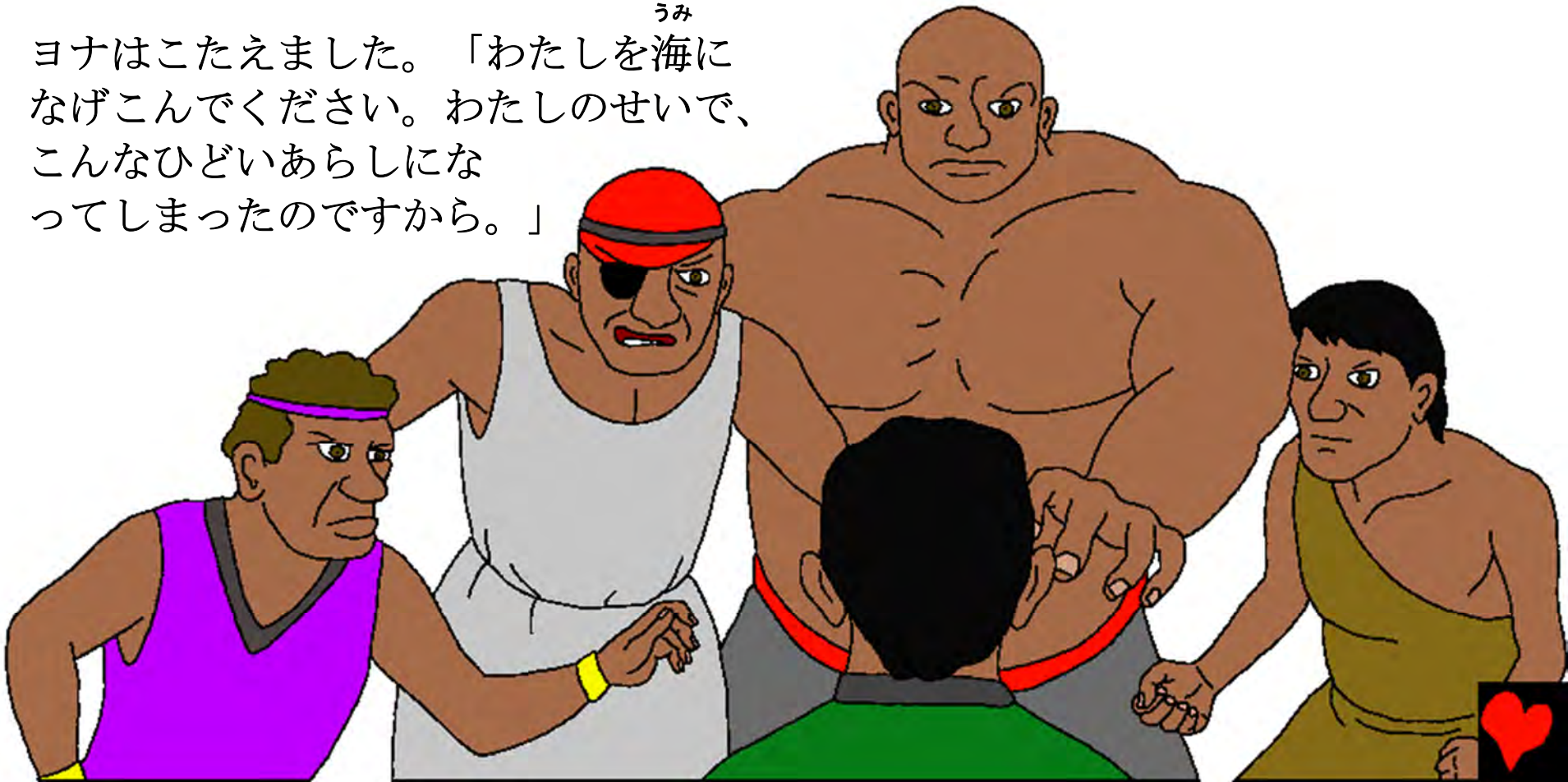
あらしは、だんだんひどくなっていきます。船のりたちは、
おそろしくてたまりません。「神さま、どうか助けてください。」
って祈りました。船をかるくしようと、荷もつをみんな海になげこみました。
けれども、あらしはますますひどくなり、
もうすぐ船はしずみそうです。



あれっ、ひとりだけ祈っていない人がいますよ。その人は、ヨナです。
ヨナは祈るかわりに、船のそこでグーグーねむっているようですね。 船長 が、
ヨナをみつけました。「こんなところで、あなたはなにをしているのですか。
いまごろ眠っているなんて！さあ、すぐ起きて祈ってください！神さまは、
もしかしたらわたしたちのことを、
助けてくださるかもしれないのです。」

そのとき、船のりたちはこう思いましたよ。こんなひどいことになったのは、ヨナのせいにちがいないって。なぜってヨナは、神さまのいうことを聞かないで、この船ににげてきたからです。そこで、船のりたちは、ヨナにたずねました。「おれたちは、いったいあなたをどのようにすればいいのだ。この海のあらしがしずまるようになるためには。」

ヨナはこたえました。「わたしを海になげこんでください。わたしのせいで、こんなひどいあらしになってしまったのですから。」



船のりたちは、ヨナを海になげこみたくありません。そこで、みんなはいっしょうけんめい船をこぎました。「さあ、船をこいで岸までいくんだ。」けれども、こいでもこいでも岸までたどりつきません。さて、どうすればいいのでしょうか。助かるほうほうは、ただひとつしかありませんね。

「神さま、どうぞおゆるしください。」船のりたちは、
こう祈ってから
ヨナをもち上げ、
海の中になげこみ
ました。ヨナが大
きな波の中にきえ
てしまったとたん、どうでしょう。
海はとたんにしずかになり、風は
やんでしまいました。船のりたちは、
このとつぜん変わった天気を見て
すっかりこわくなってしまいました。

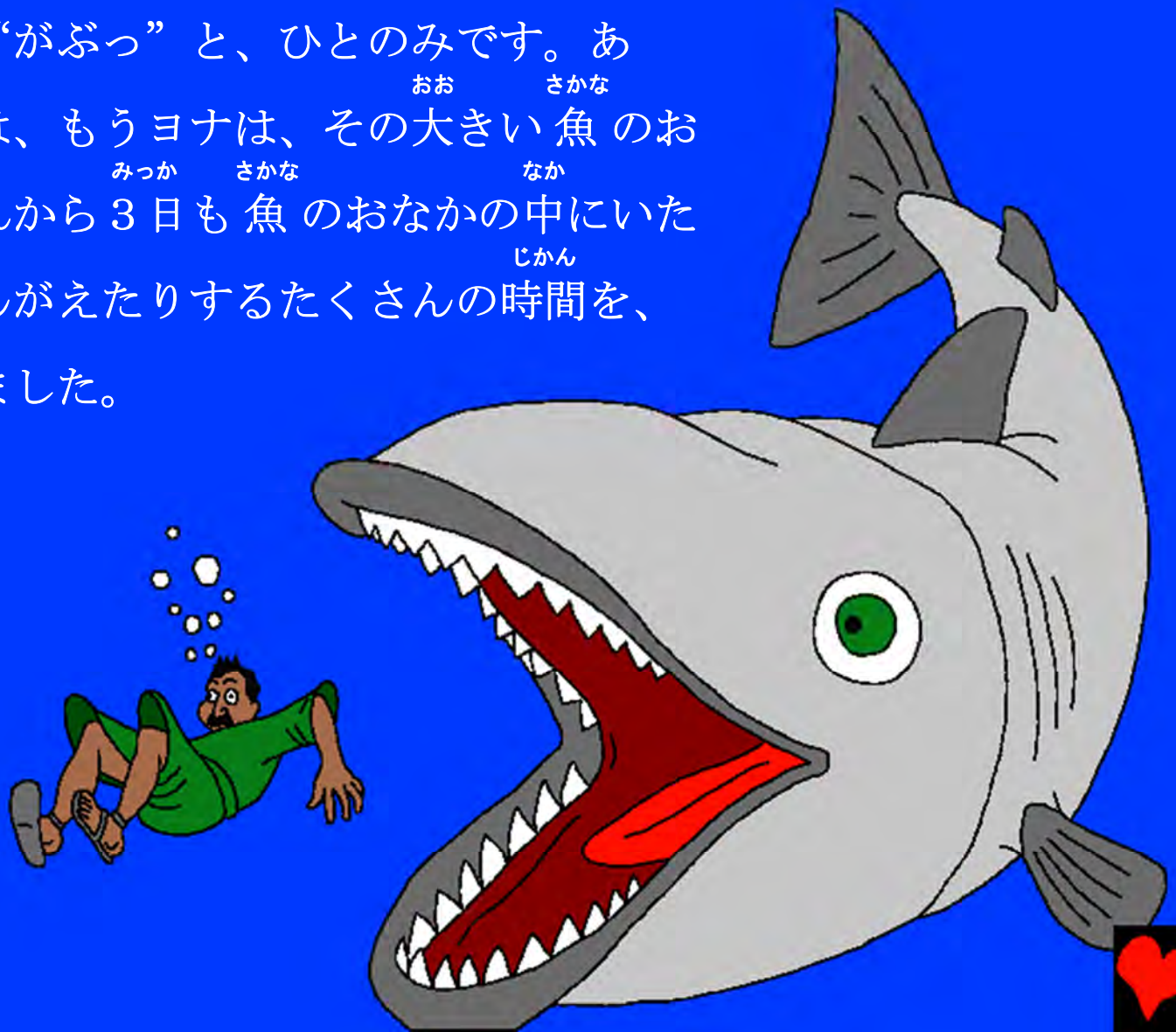
「なぜ、とつぜんあらしがやんでしまったのだろう。」それは、ひどいあらしよりも、もっともっとおそろしいこと
のように思(おも)えました。
船(ふな)のりたちは、今(いま)
はっきりとわかった
でしょう。このよう
なことがおできになる
のは、神(かみ)さましかいらっしゃら
ないって。かれらは、このふしぎな
できごとに心(こころ)からおどろいて、
神(かみ)さまをおそれながら礼拝(れいはい)しました。

さて、神さまのいうとおりしたがわなかったヨナは、とつぜん海になげこまれ、ほんとうにびっくりしたことでしょう。

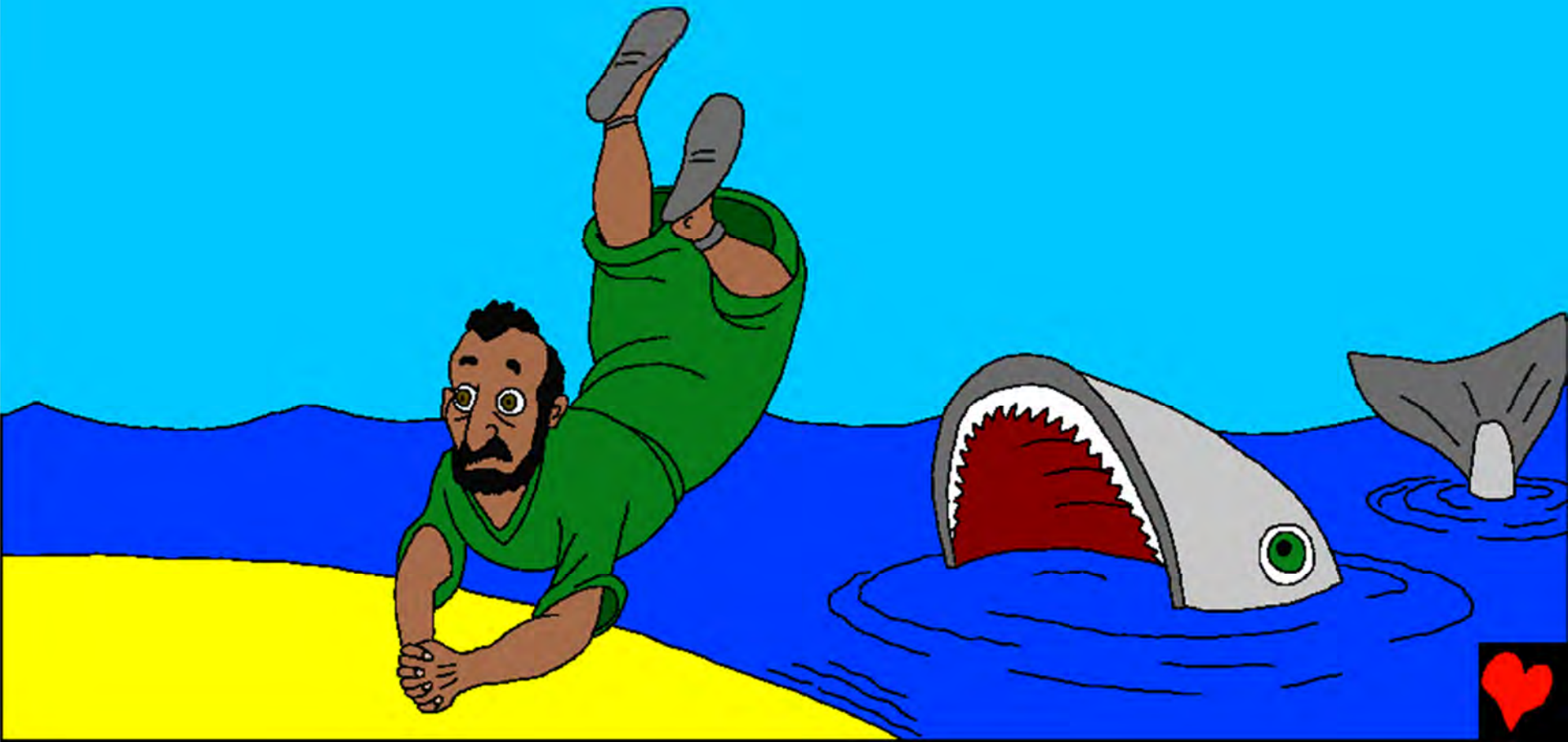
ヨナは、ふかい海の中へしずんでいきましたよ。でも、どうすることもできません。ヨナは、自分がおぼれて死んでしまうだろうって思いました。

でもね、神さまはヨナに、ほかのことを計画されていたのです。

主は、ヨナをのみこむような大きい大きい魚を　用意されていたのです。その魚はね、ちょうどそのとき、その船の下にいました。“がぶっ”と、ひとのみです。あれっと思ったときには、もうヨナは、その大きい魚のおなかの中ですよ。それから３日も魚のおなかの中にいたヨナは、祈ったりかんがえたりするたくさんの時間を、神さまからいただきました。



ちょうど３日目です。「これからは神さまの言われるとおりにしよう！」と、
ヨナは、やっと心にきめました。するとどうでしょう。神さまは、すぐに魚
に言われました。「さあ、おなかの中のものを、砂はまに吐きだしなさい。」
そして、ヨナは砂はまにうちあげられたのです。



神さまはヨナにまた、前とおなじことを言われました。「ヨナ、ニネベの町へ行き、わたしのことばを伝えなさい。」こんどは、ヨナはどうしたでしょう。もちろん、すぐに行きました。「４０日のうちに、この町はなくなってしまうだろう。」と伝えましたよ。

ニネベの人々は、神さまのことばをしんじました。人々は、食べることをやめて、あらい布のふくを着て、神さまにあやまりました。「神さま、ごめんなさい。わたしたちは、神さまにしたがわないで悪いことばかりしていました。」王さまも神さまに、あたまを下げました。王さまは、王さまだけがすわれる高い位のイスからおりて、あらい布のふくを着て、灰の中にすわりました。それから、みんなにめいれいしました。「さあ、みんな、もう悪いことはやめるんだ。争ってはいけない。そして主にゆるしてくださいって祈るんだ。」

神さまは、ほんとうにみんなをゆるしてくださったのですよ！なんてうれしいことでしょう。神さまがゆるしてくださったと知ったニネベの人々は、大よろこび。・・・でもね、ひとりだけおこっている人がいますよ。その人はだれ？ヨナだったのです。

どうして、ヨナはおこっているのでしょうか。

ヨナは、神さまに言いました。「神さま、わたしは神さまが、
めぐみぶかく、なさけぶかく、すぐに怒られることはなく、
しんせつでやさしい方ということを知っております。」

つまりね、ヨナはわたしたちが悪いことをしても、
「神さま、ごめんなさい。」

と言って、神さまのことばにしたがうようになれば、
神さまはいつもゆるしてくださることを、知っていたのです。でも、
ヨナはきっとニネベの人々が好きじゃなかったのでしょうね。
だから、
神さまがニネベの人々をすぐにゆるされるのは、
いやだったのです。

ヨナは、神さまにとてもおこって、こう言いました。「神さま、
わたしの命を、さっさと取ってしまってください。
生きているより、死んだほうがましです。」

それから、ヨナは町の外に出ていき、つぎに神さまが、いったい自分に何をなさるのだろうと思っていました。主なる神さまはね、大きなはっぱのついた木を用意されましたよ。その木はあっというまに大きくなり、その木かげが、ヨナをあついお日さまの光から一日中まもってくれました。

ところが、つぎの日のあさです。神さまは、木に１ぴきの虫をつかせました。
あれっ、クネクネうごいていますよ。うじ虫それともいも虫？その虫はね、
あっという間にはっぱを食べつくしてしまい、その木はかれてしまったのです。
それから主は、あつくてつよいつよい風をおくられました。
ヨナは死んでしまうと思うほどでした。それでヨナは、
ますます神さまに、おこりました。

そこで神さまは、ヨナに言われましたよ。「ヨナ、おまえが
わたしにおこっているのは、正しいことなのか。おまえは
とうごまの木が死んでしまい、かわいそうだと思っ
たことだろう。だが、よくかんがえてごらん、
その木は、おまえがはたらいて育てた
わけじゃないんだよ。

その木は、ひとばんで大きくなり、ひとばんで死んでしまった。それじゃ、どうしてわたしが、ニネベの人々をかわいそうと思ってはいけないのか。どうしてって、そのすばらしい町ニネベには、何千人もの人がすんでいるんだよ、ヨナ。」

ヨナと大きな魚

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

ヨナ書

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

おわり

この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしってほしいと、
思っていらっしゃるのです。

神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しっていらっしゃいます。それを、
神さまは、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。
けれども、神さまは、あなたをとても愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさま
を、この世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたので
す。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。も
し、あなたがイエスさまを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるし
てくださいます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に住んでください
ます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡く
なってくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしゃいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、
あたらしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっ
しょにいることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることがで
きますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書３：１６